

(一)

銀杏草や麒麟菜  
糊料は布海苔角又は  
織物製紙漆喰の  
火薬食塩得らるべし  
沃度を採りし其後に  
荒布搦布を灰にして  
昆布と共に輸出さる  
天草重に用ひられ  
寒天製造原料は

天草布海苔馬尾藻  
青海苔石蓴甘苔や  
全国普く産するは  
中部に荒布搦布あり  
南に鰯菜麒麟菜  
北には昆布銀杏草  
種類産額豊富なり  
紅藻褐藻緑藻の  
四面海なる我国は

(二)

利用の途を究めなん  
国の宝のくさぐさの  
いでや学の海深く  
用途効用異なれり  
色彩形状生態や  
陸の草木とかく迄に  
体にて養分吸収す  
根は定着の為にして  
花は咲ねど胞子あり

適宜養殖せらるべし  
昆布若布の類までも  
布海苔天草青海苔や  
海苔探舟の数知れず  
浅草海苔を養殖す  
東京湾には浜設け  
肥料としても価値多し  
魚の繁殖保護をなし  
新年飾る馬尾藻

(三)

(四)

(岡山大学理学部生物学教室)

## 学会録事

### 会員移動

(昭和40年4月1日より昭和40年8月15日まで)

新入会 (13名)

## 住所変更 (14名)

昭和40年8月15日現在会員数444名

本会々員岡村一郎氏は、去る8月8日、病気の為逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会

故 岡村一郎氏は我国海藻学の鼻祖岡村金太郎先生の令息で本会の設立に際しては多大の関心を寄せられ発会後も進んで本会々員となり本会発展のため種々御協力を頂いたことは感謝に堪へない所である。此処にその旨を会員諸氏にお伝えしてその御冥福を祈り度いと思ひます。